

1 総合型選抜の流れ

(1) プレゼンテーション (3～5分)

① 下記のテーマから1つ選び、プレゼンテーションを行う。

「高校生活で頑張ったこと」、または「将来の夢」

② 資料等の活用→提出は任意

紙媒体の資料はA4サイズ片面で3枚程度。

(2) 面接 (10分程度)

プレゼンテーションの内容のほか、志望理由、進路希望等について質問する。

2 評価項目

(1) 志望の意欲 : 本学で学びたいことや将来の進路希望について具体的な考えを有している。

(2) 態度・マナー : 高等教育機関で学ぶ者として、ふさわしい態度・マナーを備えている。

(3) 社会性 : 社会において他者と広く協働するために、必要な態度や能力（リーダーシップ能力など）を持っている。

(4) 問題の把握力、解決策の提案力、実践的な判断力

①問題の把握と解決策の提案 : 問題を発見し、それについての解決策を提案することができる。

②実践的な判断力 : 解決策の妥当性を吟味し、また結果について反省して次の行動へとつなげることができる。

(5) 意見を発表する力、コミュニケーション力

①発表力 : 発表（プレゼンテーション）の内容を分かりやすい言葉や文章で表現することができる。

自分の主張を、根拠となる情報を示しつつ、筋道を立てて展開することができる。

②コミュニケーション力 : 面接時の質問の意図を理解して、適切に答えることができる。

3 プレゼンテーションを行うに際しては、以下の点に注意すること。

(1) 「高校生活で頑張ったこと」をテーマとして選ぶ者

高校時代にどのような困難（課題・問題）に出会い、どのように解決（克服）しようとしたか、その努力の結果はどうであったか、それらを踏まえて現在（あるいは将来に向けて）どのようなことを考えているか、を発表の内容に加えること。

(2) 「将来の夢」をテーマとして選ぶ者

夢の実現に向けてどのような課題や困難に立ち向かう必要があるか、それらをどのような仕方で解決しようと考えているか、もしその考えがうまくいかない場合、どう対応しようと考えているか、を発表の内容に加えること。

4 プレゼンテーションの内容構成の参考例

(1) 「高校生活で頑張ったこと」の場合

①テーマ : 高校生活で頑張ったこと、②活動に取り組むようになったきっかけ、③活動の概要、④取り組んだ課題と解決への努力、⑤活動の結果、⑥活動の反省と将来への抱負

(2) 「将来の夢」の場合

①テーマ : 将来の夢、②夢を持つようになったきっかけ、③夢実現のために取り組むべき課題、④夢実現のための行動計画、⑤実行後に反省する計画

5 不明な点はお問い合わせください。